

議会だより

# かみやま

第 31 号

2016. 11. 15

9月定例会



敬老会の出番待ちの広野保育所の児童

宮古市へ見舞金	3 頁
生ごみ収集処理を試験的に実施	3 頁
国への要望活動	16~17頁



9月定例会は、平成28年9月9日から16日までの8日間の会期で開催した。提出議案は、平成28年度補正予算5件、平成27年度決算認定5件、財産の取得2件、変更請負契約1件、人事案件2件の15議案を審議し、すべて可決、認定、同意した。

一般質問では7議員が登壇し、それぞれ町の考えを質問した。

日	平成28年9月定例会議案事項	掲載頁
第1日	町長から行政等の報告	3頁
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度一般会計補正予算（第2号）について</li> <li>・平成28年度特別会計補正予算（第2号）について （国民健康保険・簡易水道・介護保険・後期高齢者医療） 【上程】</li> <li>・財産の取得について（2件） 【上程・審議・可決】</li> <li>・平成27年度（平成27年発生）林道施設災害復旧事業（平成27年7月16日発生地すべり災害）倉羅川井峠線1号箇所工事変更請負契約の締結について 【上程・審議・可決】</li> </ul>	4頁
第4日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度一般会計歳入歳出決算認定について</li> <li>・平成27年度特別会計歳入歳出決算認定について （国民健康保険・簡易水道・介護保険・後期高齢者医療） 【上程】</li> <li>・監査委員意見書陳述</li> <li>・決算関係書類審査</li> </ul>	5頁
第6日	一般質問 西崎哲夫議員 河野雅俊議員 佐出由恵議員 新居榮二議員 森本吉治議員 高橋和男議員 相原浩志議員	6頁～12頁
第8日	保留議案の審議 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度一般会計補正予算（第2号）について</li> <li>・平成28年度特別会計補正予算（第2号）について （国民健康保険・簡易水道・介護保険・後期高齢者医療）</li> <li>・平成27年度一般会計歳入歳出決算認定について</li> <li>・平成27年度特別会計歳入歳出決算認定について （国民健康保険・簡易水道・介護保険・後期高齢者医療） 【審議・認定】</li> </ul>	2頁
	人事案件 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会委員の任命について（2件） 【上程・同意】</li> </ul>	

※第2日、第3日、第5日、第7日は議事日程の都合により休会とした。

### 人事案件

#### 教育委員会委員の任命

- ・千田倫男氏 神領字東野間  
任期 平成28年10月3日から平成32年10月2日
  
- ・敷田芳郎氏 下分字中稲原  
任期 平成28年10月3日から平成31年10月2日

## 町長からの行政報告

### 地方交付税が減額に

28年度の地方交付税が前年より、4975万円の大幅な減額に。これは昨年実施された、国勢調査人口が今年度分の算定に反映されたことによるものである。今後も引き続き経費の削減、歳入確保に取り組んでいかねばならない。

### 9月議会補正予算の使い道

#### ■衛生費

生ゴミの収集処理を試験的に実施するための関連経費を計上。生ゴミの収集処理を12月から試験的に実施するために、本庁、広野支所、各公民館に設置する生ゴミ収集かごの購入費、処理委託料等の関連経費。

#### ■教育費

旧鬼籠野小学校一ノ坂分校の校舍改修工事、旧下分小学校プール解体工事の経費。旧下分小学校のプール解体ではイベント時の駐車場不足の解消、下分保育所保護者の送迎時の利便性になると考えている。

#### ■農林水産費

中山間地の営農にあたり石垣ハウスの実証実験を神領地区で（株）フードハブプロジェクトが行う。事業化の可否についてデータを基に見極めたい。

#### ■商工費

神山温泉の脱衣室出入り口の建具の交換、打たせ湯ブース等の改修工事。

#### ■総務費

集合住宅建設に伴い、町産材木材の購入、関連用地の購入費を計上。

29年7月から運用される。マイナンバーシステムに関する国や関係団体間の総合的なテストの経費。

## 報 告

### 宮古市へ見舞金

8月の台風10号により友好提携都市を結んでいる岩手県宮古市では高潮と台風が重なり、庁舎一部が浸水、特に公用車70台が浸水するなどし、災害調査にも出向けない状況に陥った。東日本大震災以上の大きな被害をうけたため、見舞金を送ることとした。予算計上している予備費より支出。

### 水不足対策に

梅雨明け以降、本格的な降雨が無かったため、湯水対策として、節水を呼びかける一方、水不足の家庭に支所、公民館にポリタンクを配置し、8月中旬から無料の給水を実施した。冬場に向けて、再度節水を呼びかけるとともに、飲料水不足の家庭には、給水を行うなど万全を期していきたい。

### 目黒さんま祭り

#### 東京高円寺の阿波踊りで：

8月27・28日、高円寺阿波踊りに、すだちPRに参加、2日間で100万人の来場者のなか、ビール会社と地元60店舗の協力をいただき、「神山すだちビール」を展開し、また、9月4日開催の目黒さんま祭りでは、宮古市のさんま、7000匹と神山のすだち1万個などのコラボレーションで2万人を超える来場者で成功裏の内に終わることができた。



目黒さんま祭り



すだちレディもPR



東京高円寺ですだちのPR

# 補正予算・変更請負契約

## 平成28年度補正予算

一般会計（第2号）	補正額	1億304万円（44億6151万円）
国民健康保険特別会計（第2号）	補正額	57万円（10億7495万円）
簡易水道事業特別会計（第2号）	補正額	0万円（1億9859万円）
介護保険特別会計（第2号）	補正額	△135万円（11億1640万円）
後期高齢者医療特別会計（第2号）	補正額	89万円（1億2260万円）

---

予算合計	補正額	1億315万円（69億7405万円）
------	-----	--------------------

平成28年度補正予算・変更請負契約の主な内容	
総務課	・住宅新築工事設計業務委託料 570万円
	・番号制度対応システム改修委託料 719万円
	・フードハブ神山施設整備工事監理業務委託料 502万円
	・集合住宅建設用木材購入費 3000万円
	・用地等購入費（ホシデン跡地） 2187万円
住民課	・避難所緊急安全診断業務委託料 285万円
	・需用費（ゴミ袋、かごを本庁、広野支所、各公民館に設置） 79万円
保険課	・生ゴミ処理委託料（1人1日当たり300gで1000人分） 141万円
	・後期高齢者医療特別会計繰出金 89万円
福祉課	・介護保険特別会計繰出金 △135万円
	・石垣ハウス実証実験補助金 290万円
観光課	・神山温泉施設改修工事 390万円
	・治山工事（名田河） 350万円
建設課	・町道維持工事
	・平成27年度（平成27年発生）林道施設災害復旧事業（平成27年7月16日発生地すべり災害）倉羅川井峠線1号箇所工事変更請負契約の締結について 1300万円
	・ガードレール設置工事 200万円
	・スクールバス委託料 410万円
委員会	・小学校施設改修工事（旧鬼籠野小学校一ノ坂分校） 982万円
	・プール解体工事（旧下分小学校） 825万円

平成27年度

# 決算

一般会計と特別会計合わせ

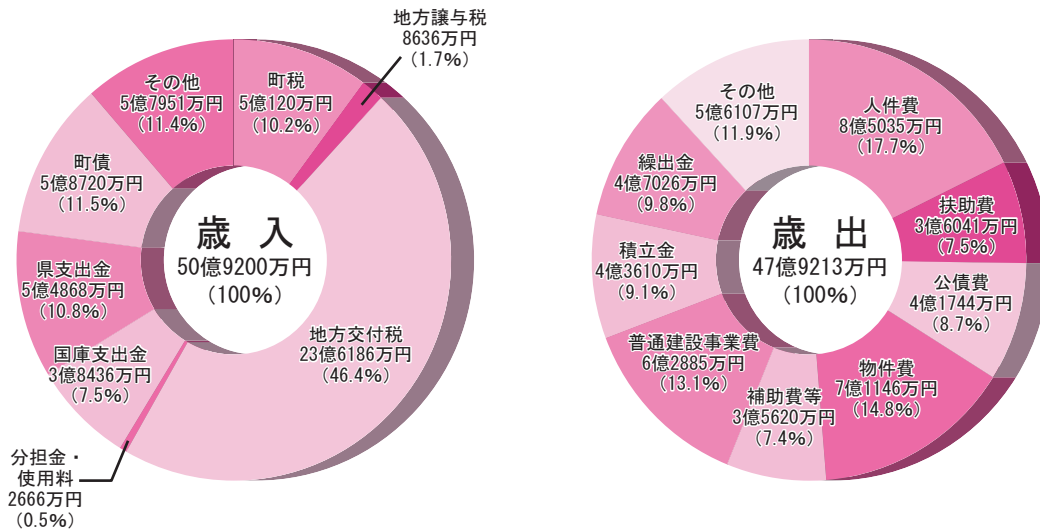
## 73億5072万円を認定!!

### ●平成27年度決算状況

(単位：千円)

会計区分		一般会計	特別会計				計
			国民健康保険	簡易水道事業	介護保険	後期高齢者医療	
歳入	27年度	5,092,003	1,113,752	17,759	1,012,100	115,115	7,350,729
	26年度	5,136,044	1,092,930	668,336	986,710	117,867	8,001,887
	増減額	△44,041	20,822	△650,577	25,390	△2,752	△651,158
	増減率(%)	△0.9	1.9	△3,663.4	2.5	△2.4	△8.9
歳出	27年度	4,807,123	993,376	170,359	975,650	115,085	7,061,593
	26年度	4,938,920	935,194	662,768	974,163	117,698	7,628,743
	増減額	△131,797	58,182	△492,409	△1,487	△2,613	△567,150
	増減率(%)	△2.7	5.9	△289.0	0.2	△2.3	△8.0

### ●一般会計決算の内訳



27年度普通会計地方財政状況調査に基づくもので、決算額と一致しない。

### ●平成27年度の財政状況

名称	指数		解説
	27年度	26年度	
財政力指数	0.21	0.204	1に近く1を超えるほど財源に余裕がある。
経常収支比率	74.7	77.7	財政構造の弾力性を判断する指標で、75%程度に納まるのが妥当と考えられている。
実質公債費比率	3.5	3.5	全ての事業の公債費比率で、18%以上は起債(借入金)に知事の許可が必要。

# 一般質問



西崎哲夫 議員

## 質問①

本町のふるさと納税の実態と返礼品の実態を詳しく

答弁（総務課長）

里山みらいに委託契約している。返礼品については1万5000円以上の方には本町の採れたて新鮮野菜や本町の特産品を年3回送付している。実質1万2000円の返礼品となっている。4月分は米2キロ、桜の塩漬、神山ルビー、しいたけ、甘夏、八朔、アメゴの甘露煮、切干大根、春の山菜セットであった。

## 質問

全国では返礼品競争が激化して、適正化が指摘されて久しいが本町の基本的な考え方はどうなのか。

答弁（町長）

エスカレートする返礼品の特典や豪華傾向については、総務省からも是正が求められている。本町では国の趣旨に沿って神山産農産物や加工品が主であ

## ① 本町のふるさと納税について ② 自主防災組織のあり方について ③ 国民健康保険事業の県への一部移管について

まり豪華にならないようなあり方ではないかと思う。しかし工夫を凝らした、木工品、陶芸品やソフト面で神山滞在体験などの選択制も里山みらいに指示している。

## 質問②

土砂災害防止法に基づく、県の現地基礎調査が完了し、住民説明会もあり、土砂災害警戒区域、土砂災害特別区域が3ヶ月以内にも地域指定告示が町へ具申されるとのことである。この告示によって自主防災組織も組織率アップ方針から質の向上の指導に移行すべきではないか。

答弁（町長）

自助、共助、公助の中で、自共助の関わる自主防災組織の組織率は55・7%で県下一低い現状だが、質をさらに高めていかなければと考えている。土砂災害防止法による情報提供は非常に大切であり、現地調査結果の成果を地域防災計画に反映し、見直しをかけると同時にハザードマップも見直しているかなければと思う。土砂災害発生時には非常に難しい対応を迫られ

ると思うので、より気を引き締めて防災減災につなげていきたいと考えている。昭和13年の大水害を知る町民も少なくなり、昭和49年の災害についても知る職員も少数となった。災害に対応する力も弱くなっているかと思うが行政には行政としてやらなければならぬことをやっていかなければと思っている。

## 質問③

国民健康保険事業の県への一部移管について、  
(イ) 移管の時期は何時頃になるのか。  
(ロ) 目的税である課税、徴収はどうなるのか。

(ハ) 各自治体の拠出金は従前と比べてどうなるのか。  
(ニ) メリット、デメリットをどの様にとらえているのか。

答弁（税務保険課長）

(イ) 平成27年度に国民健康保険法等の一部を改正する法律が成立し平成30年度から都道府県と市町村の共同運営が決まっている。  
(ロ) 被保険者証の発行等の資

格管理保険税率の決定及び賦課、徴収及び保険給付等、地域の特性に応じた保険事業の実施等は従来通り市町村が行う。  
(ハ) 拠出金に関しては、直近3年間の平均を基に確定するので現段階では比較出来ないと考

える。  
(ニ) 広域化に伴い運営の母体が県に移る事で、現在の過疎化が進行している自治体で、高齢者比率が高い所は医療費の負担が増しているわりに、保険料と負担する現役世代が減少している現状がある。そのため税の負担を重くするという悪循環にある。広域化に伴い市町村単位の負担の不均衡をなくす事が可能になると期待されている。又、事務が県にまとめられる事により事務の効率化や国保財政が安定することもメリットと思う。デメリットは被保険者の平均所得等によって拠出金が調整されることになり、現状県の平均よりも所得の低い本町については広域化によるデメリットは現在のところないと考えている。

# 一般質問



新居榮二 議員

## ① 国道438号の継続工事について

### 質問①

国道438号の継続工事について神領工区は9割方完了しているが、神領北と下分地野の間と鬼籠野阿保坂と青井夫の2箇所がまだ完了していない。焼山寺、城西神山分校の進入口でもあり、バス通の生徒達が通行する時に左側通行して事故が予測される。道幅も狭く車が大変混雑している。この件について説明を。

### 答弁（町長）

県の考えでは、神領工区については、既に完了したということとで、継続ということにはなっていないと聞いている。ご指摘の所を新たに工事着工を目指すことになる。新たに要望活動をして、この区間の改良整備を新たに計画に入れていただくということになると考えている。

なぜ工事が遅延しておるかというよりも、どうしてあの箇所が残っておるかということだと思いが、当時私が聞いているのは、境界がなかなか明確にならなかったということのようである。この度、地籍調査がなされ境界がはっきりしたということとで、これから、私どもや地元選出の岩丸県議と一丸となって県への要望活動をしていく必要があると考えている。地籍調査の結果が出るのは、法務局の登記が完了するまで時間がかかるので、まだ来年度いっばいかかるかと聞いている。

しかし、あそこは神山分校もあり通学上も非常に危険であるということから、早め早めの県当局への対応が町としても必要かなと考えている。

### 質問

今の町長の説明でだいぶ分かったが、私は完了はまだ9割方だと思っていたが、町長の説

明で完了という言葉が出てきた。この件については、立ち上げ直しということになってくるとまた時間とお金がかかると思う。

そこで、今後神領工区の完了実現に向けて国、県の関係機関へ要望して、一日も早く実現できるように町議会も一生懸命取り組んでいく必要があると思う。町当局の再度説明を。

### 答弁（町長）

国、県等関係機関へ陳情をしてはということだが、今までは県の見解は神領工区は完了しているという意味であり、あの箇所は部分的な完成はしていないと私も心得ている。県単事業とかその他、できるだけ県負担のかからない事業を多分見つけてもらえると考えているので、できるだけ早期に計画の策定をお願いし完成するように町としても要望活動を続けていきたいと考えている。

### 質問

ただいまの町長のご説明よく分かった。県単ではあの工事は大きすぎて難しいと思う。国、県に再度働きかけて早く国道が完了するように町長、町関係の皆様さん方、なお一層のご指導とご努力をお願いしたい。



神領北（城西高校神山分校前）

# 一般質問



森本吉治 議員

## 質問①

町内に雨乞の滝と神通の滝と、2つの有名な滝があり。四季を問わず観光客が大勢訪れている。数年前には、雨乞の滝に関西の民放が取材に来ていた。また上分、神通の滝は厳寒時に滝壺まで凍りつく美しい景観を見ることが出来る。

ところで、神通の滝までの林道、遊歩道が荒れており整備改修が必要と思われる。遊歩道沿いには危険防止の柵があるが、ゆがんでいたり、小さな子供が道を踏み外すと谷底まで滑落し、死に至るおそれがあるところも2箇所ほどある。この滝には、4年前にオリンピックの全日本男子バレーボールチームが必勝祈願にも訪れるという名の知れた滝である。県内外から観光客が多く訪れる滝を安全に散策できるように整備改修をすべきではないか。

## ① 神通の滝への遊歩道の安全策は ② 二本木地区の消火栓は

### 答弁（建設課長）

国道から神通の滝入り口までの林道は町道より少し重要性は落ちるが、観光道路ということで、被災時には応急工事をしているが、傷んでいることは承知している。単独では工事費が高いので、県に県単事業の要望をしていきたい。



傾いたフェンス

### 答弁（町長）

現在の遊歩道の路面については地元の保勝会に、年1回は土砂、土石の取りのけをお願いしている。

しかし今より以上の安全策をするには、多額の費用がかかりすぎるし景観を損ねかねない。そこで、地元の皆様の意見を参考に遊歩道を対岸に作ればとの考えを持っている。

### 質問

新しい遊歩道を対岸に作るになると、地質的には同じ箇所になるが、今の遊歩道にも数箇所崩落場所があるが、心配はないのか。

### 答弁（町長）

地質、岩質は同じであるが、考えられている新しい遊歩道は勾配が比較的緩やかであり、歩く距離も短く、現遊歩道より安全と考えている。



崩れている歩道

### 質問②

神山町の入り口、徳島市と隣接している、二本木地区は徳島市から水道水が供給されている。

40年ほど前、入田事務所が徳島駅裏から移転されたおり、地域対策として供給されたとの事

### 答弁（総務課長）

二本木地区は11戸で昔から入田の大久地区とのつながりが強く町境を越えてさかんに交流が行われていたと聞いている。水道水も神山町分は6戸である。二本木地区には町の消火栓は設置されておらず、現地確認したところ、徳島市の消火栓がある。今のところ、火災発生時には近くの消火栓を使つての対処をしたいと思つている。

しかし初期消火となると消火栓が非常に有効であるので、徳島市へ問い合わせをし、貸して確認し、また神山町の設備も徳島市に合わせたものが、つくれるのかどうかも含め検討を進めてまいりたい。



二本木地区の消火栓



# 一般質問



高橋和男 議員

## 質問①

地籍調査中に私の講中の方が亡くなられたり、又大けがをされたりで大変なことになる、亡くなられた方にはご冥福をお祈りし、また怪我をされた方にはお見舞いを申しあげます。これから、どのような対策を考えているのか、また保険に入っているのか答弁を求めます。

## 答弁（税務保険課長）

地籍調査についてであるが、地籍調査に伴う一筆調査とは現地において、土地所有者等立会いのもと、一筆地ごとの土地について所有者、地番、地目、境界を調査確認を行う。調査では、登記所にある登記簿と公図を基に、調査図を作り、土地所有者立会いのうえで現地と照合しながら境界を確認する。安全管理についてであるが、計画段階から事故の起きないように受

## ① 地籍調査について

## ② 行者野橋北詰めの改良について

託業者とは十分な打ち合わせを行い、緊急時の連絡体制などを確認して行っている。又、余裕のある日程とすることで無理のない調査に配慮している。又、町担当職員も立会いに同行し体調や安全管理に注意している。又、保険についてであるが、地籍調査に立会いたくの方のために、傷害保険へ加入している。不慮の事故に遭遇した場合に見舞金を支給している。急傾斜地や足場の悪い場所での調査については職員が一層注意し危険と判断される場合は、公図等資料に基づき境界を確認しているところである。

## 質問

山林の荒廃により、人間が入れない所もあり、GPS（人工衛星）による画像とドローン（無人小型機）によるビデオ・写真で現場に行かなくても、役場で出来ないものか。

現在建設作業の3Kを、やわ

らげるために、ドローンによる図面作成とかを、やって開発していくそうである。



行者野橋

## 質問②

行者野橋北詰は6月議会で森本議員が一般質問をしたが再度質問する。朝夕のラッシュ時には渋滞で困っていて事故も多発している所なので、町長はどの

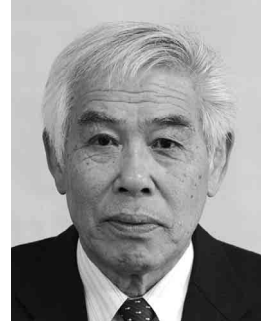
## 答弁（町長）

ような考えを持っているのか。一番いいのは行者橋の架替えと思うが、阿野橋が完成してから、行者橋の計画が入って、早く工事にかかり完成するように希望するところである。

## 質問

県道神山石井線で北岸は南岸に比べればずいぶん遅れているのが現状である。下地団地の所が現在改良工事で工事をされているが、あの工事の延長で行者野橋北岸歯ノ辻地区丸高建設倉庫から石井方面に向かって消防の詰め所から石垣の所まで道路改良工事でできないものかどうか、県の方に陳情してはどうか。行者野橋も完成に至るまで10年か15年ぐらいかかるのであればとりあえず改良工事で切り取りをしてはどうかと思う。

# 一般質問



相原浩志 議員

## 質問①

近年夏場の温度は上昇傾向にあり干ばつに伴う農作物に、農家は、かん水に苦労されている



かん水施設

## ① 農作物等に対するかん水施設整備について

と思う。また、農作物に大きな影響が出ると予想される。

すだち等農作物がある程度集団化している地域に、かん水施設ができれば飲料水等にも有効利用できることから町長の考えを求める。

## 答弁（町長）

今年、台風の発生するのが非常に遅かったということ、南太平洋の島々では、水に非常に苦労しておられるようである。

本町でも、高温で乾燥が続きどうなることかと心配をしていた。

近年、特に温暖化の影響か、気温も非常に高温になって35度というのは普通になってきたという状況である。

当然、農作物あるいは飲料水

にも、水の確保に対策を講じなければならぬと常々考えている。

すだちのみならずいろんな農作物、あるいはまさかの時は、飲料水にも供することができ

る、そういった目的の下に、助成制度等を考えてまいりたい。

その中身はこれから検討し、施設整備ができるように前向きな対応を考えたい。



かん水施設を利用したスプリンクラー

# 一般質問



佐出由恵 議員

## 質問①

昨年の神山東中学の統合についての説明会において、住民票を異動する事なく町外の中学校に通学出来ないかと質問したところ、当時の教育長は、「町外への通学は出来ない」との答えだった。

しかし、実際には住所地の状況は不明だが町外の中学校へ通学している生徒がいる。阿野地区住民の多くは、石井町や徳島市を生活圏としており、また保護者がいない時にスクールバスに乗り遅れたり、保護者の職場や兄弟の通学する高校と反対方向へ通学する不便を考えると神山中学校以外を希望することも

## ① 小学生の中学校進学について

理解できる。

神山中学校以外の選択肢がないことで、住民が町外へ転出するのは、町としても大きな損失となるので、町外の中学校への就学は可能かどうか。

### 答弁（教育長）

児童生徒の就学については、学校教育法施行令で規定されている。規定では、住所がある市町村が設置する学校に就学することになっており、住所地以外には就学できない。ただし、保護者が希望する場合はこの限りではない。就学を希望する学校を設置する教育委員会の承諾を得た後、保護者は、承諾を明らかにする書面を添え児童生徒の住所のある町村の教育委員会に届けなければならぬことになっている。



スクールバス

# 一般質問



河野雅俊 議員

## 質問①

町内各地域の小学校廃校に伴い安全面、賠償保険等の関係により遊具が撤去されており、農



農村ふれあい公園の遊具

## ① 公園設備充実について ② 農業振興について

村ふれあい公園に昨年度、滑り台を設置した場所に、新たな数種類の遊具の設置を望んでいる声が多く聞こえることから、憩いの場所として利用できる今以上に充実した整備が出来ないのか。

### 答弁（町長）

特に夏場は温泉前の上角谷川で水深も浅く、安全であるということから年齢の低い家族づれの方が多くなってきたら実感しており、遊具の利用者も非常に多くなっている。今地方創生の事業を進めているので、乳幼児の遊具等の環境整備は必須であろうと考え、現地で調査しながら、増設に向けて前向きに取り組んでいきたいと考えている。

## 質問②

町内各農家の大半の農業者が高齢化しており、今後担い手不足により益々休耕地、荒廃地となり農地の持つ多面的機能も失われ、災害への危険性も危惧しており、機械化が進む中で、耕地を守るためにも高額な機械の購入時に対して助成は出来ないのか。

### 答弁（町長）

担い手不足や高齢化というなかで耕作放棄地、離農も非常に増えている現状にある。町単事業で、すだちの冷蔵庫の導入事業、鳥獣害の防止対策の電柵、ネット等にも個人でも可能な補助制度を既に進めており、県単事業では、3戸以上の共同購入時に対して助成もある。検討し

ながら単独事業で一人でも可能な制度を検討していきたいと思っている。



農機具

# 行政視察及び 議員研修

## 徳島県町村議会議員研修会

徳島県町村議会議員研修会（県町村議会議員会主催）が7月19日（火）徳島のグランヴィリオホテルで開催された。同議長会が1月に県議会議長会と締結した連携協定に基づき、初めて県議や市議も加わり県内議員3団体連携事業で総勢約380余名の議員が参加した。13時30分開会し会長挨拶で徳島県町村議会々長株田茂氏が今回初の会合の過程を説明し次年度も続けて行く事を確認した。来賓挨拶を徳島県議会議長（阿南市選出）の嘉見博之氏と徳島県市議会々長岸本和代氏が挨拶して講演に移り国際政治軍事アナリストの小川和久氏が日本人に日本の国を守るのかと題して講演した。中国や北朝鮮の動向など日本を取り巻く軍事情勢について一つの国が暴走しない歯止となる性格もあるなどと意義を強調した。結論として日本の今の

軍事力では日本を守れないと位置づけて講演を終了した。次に元衆議院議員で現在福山大客員教授の田中秀征氏が、最近の政治と経済についてと題して講演した。東京都知事選挙については小池百合子氏が一步も二歩も他の候補よりもすでにリードしている事をすでに予測していた。他に原子力発電所、TPP、憲法改正、歴史、集団的自衛権、行革、アベノミクスなどを出口問題ではアクセルをふみ込んでスピードアップしないと非常に危険な状態である結論だった。色々な分野の講演を聞き意義ある研修会で大変勉強になった。

（新居榮二）



研修会の風景

## 徳島県町村議会女性議員連盟 の研修会に参加して

9月29日は、議会開催中の町村があつたことから、参加者が通常より少なく残念であつたが、議題が身近な問題であつたため自身の濃い有意義な研修会となつた。

午前の部では、「訪問看護ステーション海部」において、公益社団法人徳島県看護協会専務理事の渡川明子様より挨拶を頂いた後、看護協会地域ケア部門総括の伊達朋子様と、訪問看護ステーション海部の管理者の藤原登志子様より「徳島県の訪問看護の現状」「訪問看護ステーション海部の活動報告と課題」との演題で説明して頂いた。

看護協会は、全国で約70万人徳島県では4500人強の保健師、助産師、看護師及び准看護師を会員とした団体で、教育と研鑽に根ざした専門性に基づき看護の質の向上を図るとともに、安心して働き続けられる環境づくりの推進、人々のニーズに心える看護領域の開発・発展を図ることにより、県民の健康

な生活の実現に寄与することを目的に活動されていて、その活動の一つとして訪問看護ステーションを運営されているとのお話であつた。

研修会場となつた訪問看護ステーション海部では、平成14年に徳島県立海部病院内に訪問看護ステーション阿南の海部支所として開設され、平成23年に事務所を美波町へ移転、平成24年には病後児保育事業開始、平成27年に訪問看護ステーション海部並びにサテライト那賀を開設し、職員数は海部が4名、那賀が1名で運営されているとの説明だった。

近年の少子高齢化により高齢者が高齢者を介護する老々介護や介護者と要介護者が共に認知症の認認介護などが増加する現在、利用者が在宅で主体性をもって健康の自己管理と必要な資源を自ら活用し生活の質を高めることができるように、また、安らかな終末を過ごすことができるよう支援することを訪問看護の目的としている。

神山町においても、現在でも訪問看護ステーション徳島より

サービスが受けられるが、利便性や県下6位の高齢化率や子育て支援を考えると、1日も早い設置が望まれるので、関係機関に積極的に働きかけたい。

また、午後からは、美波町役場保健福祉課保健師の岡本理恵様より、「すくすく美波っこ事業」についての説明を受けた。

美波町では、平成21年度生まれのお子さんからは全員持っている「美波っこファイル」を活用し、お子さんの発育・発達に関わる情報を保護者と共有し、必要であれば、成人後も活用できるようになっているとのことだった。

専門家による各種相談事業を行なっており、臨床心理士による遊びの相談室や各種資格を持った言語聴覚士による言語相談などの相談事業は、子どもや保護者だけでなく子どもに関わる関係者も受けられるそうだ。

今回の研修会で学んだ美波町の取り組みを参考に、神山町においても未来を担う子どもたちのよりよい育ちをめざした施策や、介護が必要とされる皆さんを支援する施策を積極的に提案

していききたいと思った研修会だった。  
(佐出由恵)



研修中

## 南海トラフ地震対策等決議

平成28年度四国四県町村長・議長大会

平成28年度四国四県町村長・議長大会が9月29日、松山全日空ホテル（愛媛県松山市）で行われ、後藤町長と共に出席した。

地方創生の推進及び一億総活躍社会の実現、南海トラフ地震対策等、防災・減災対策の充実強化、四国地方の交通基盤等の整備促進、農林水産業・地域の活力創造についての議題が提出され、いずれも審議の結果採択

し、満場一致で大会決議した。

また、合区による選挙制度を見直し、法律のみならず憲法の改正も視野に入れて、都道府県単位による代表が国政に参加する仕組みを構築されるよう強く要望する特別決議をした。

共同アピールとして、四国四県の魅力を発信するために「四国八十八箇所霊場と遍路道」の世界遺産登録に向け一層の機運の醸成に取り組みことを決定し大会を終えた。  
(榎本雄一)



徳島県の提出議題を朗読中の榎本議長

## 長野県下條村議員研修視察

10月3日、4日、5日、町議10名と事務局長計11名で視察研

修に参加した。

愛知県から長野県下條村に引越してきた、加藤さん夫婦。アトピーの長女葵ちゃん（5歳）を空気のきれいなところで育てたかった。村は高校生まで医療費が無料だ。鉄筋のマンションも2LDKで家賃3万6千円。村外から若夫婦を呼び込み、赤ちゃんをたくさん産んでもらおうと、村が162戸分建てた。加藤さんは、村の誘致企業に転職し「貯金ができます」と満足げだ。村の人口は1991年の3800人を底に毎年増え、現在4200人。出生率は1.97。全国平均の1.29を大きく上回る。

農家の井村さん（72）は村の「道路族」だ。小規模な生活道路について、どこを舗装するか、地区の道路委員長として住民の声をまとめる。ただし、利権とは無縁で労力は委員長以下、住民の無料奉仕、セメントなどの資材だけ、村が用意する。コストは、業者発注の場合の半分以下。村が、この方式を提案したのは92年。「皆怒った。税金を払っているのに何だ、

と」(井村さん)。だが実は、公共事業で働く農家が多く、工事はお手のものだった。「浮いたお金は巡り巡って村民に返る」と説得され、結局、現在年間100件前後がこの方式だ。

伊藤喜平村長。ガソリンスタンド、自動車修理工場の社長から村議を経て、92年村長に初当選した。「以前は、やはり過疎化でね、客が年々減っていく、優秀な人材が都会へ出て行く、中小企業にとっては致命傷だ。」何もない村だが、危機感だけはあった。就任直後、予算編成、議会などで一番忙しいとされる1月、あえて隣の大型店で職員研修をした。全員交代で店に立たせた。役場が忙しいという時期、民間はもっと厳しい。役場なんて国や県から集まった税金を配るだけ。それも、もったいぶって急がずサボらず前例踏襲。公務員の生活は極楽よりのいい。当時51人いた職員は、退職者の穴埋めをしないなどで今、37人、人減らしをしたんじゃない。意識改革をしたのだ。(高橋和男)



下條村での視察

議員視察二日目

10月4日、小川村での研修目的は、間伐材や支障木・端材等を木質バイオマス熱として利用し持続可能な地域資源と地域の活性化を計る勉強であった。

長野県北部に位置する当村は面積58.07km<sup>2</sup>、人口は2678人、高齢化率44%、長野市まで25km、車で約30分に位置し生活圏は長野市となっている。

全国の中山間地域と同じく少子高齢過疎化の進行により、遊休・荒廃農地が増大しその対策と村の面積の73%を占める森林整備が急務であると判断して村

民のニーズに応えるべく、一般財団法人『小川村農林公社みらい』を「J.Aながの」「長野森林組合」の協力により設立した。

公社では地産の材料を使って味噌・納豆・豆腐・クッキー等の製造販売や農作業の請負、堆肥センターの管理運営等を行っている。

「おがわ森の恵みプロジェクト」を5年前に立ち上げ切捨て間伐材をトン5000円で買取り町内では軽トラ一車1万円町外は1万2000円で薪の製造販売を行っている。

ハード面では1億1000万円を投入。その内、国県の補助金7000万円を利用して管理棟、木材重量測定器、薪ボイラー、グラップル付トラック、フォークリフト等の設備をした。

村民のニーズに応える姿勢は評価出来るが肝心のソフト面では遅れが目立った。現在5年目であるが人材の確保、材料の安定供給と販売先、採算性等経営課題がいまだ解決出来ないと感じた。

将来世代につけを回さない為にも、第3セクターの設立には目的とより明確なビジョンが求められる。(細井成富)



小川村での視察



農林公社みらいで材木加工を見学

## 国土交通省・財務省 への要望について

10月25日、議員9名、後藤町長、岩丸県議と共に、国土交通省、財務省へ継続事業の国道193号倉羅トンネル早期完成と新規の県道神山国府線行者野橋架け替について、徳島県東京本部・後藤田衆議院議員に案内をしていただき、国土交通省道路局長・企画課長・国道防災課長に要望書を添え早期完成と採択をお願いし財務省では、財務大臣政務官、三木亨様・財務主計官に要望した。

その後、県選出の国会議員に議員会館の事務所を訪れ要望への支援をお願いしたところである。  
(相原浩志)



県選出国会議員に支援を依頼



国土交通省で要望活動

午後は、観光庁観光地域振興課長補佐、平林剛氏による『地方に於けるインバウンド振興』と題して、観光の現状と日本を支える観光ビジョンや地方に於けるインバウンド振興についての勉強会であった。

現在、訪日外国人旅行消費額は自動車部品の輸出額とほぼ同水準の3兆5千億円である。

地域の観光振興には地域の自然、食、文化、気候の観光に必要な4条件を組み合わせて観光資源に付加価値を付けて国の内外にアピールをすること。

幸い神山町には遍路道があり、お接待文化が定着しており、人と人とのふれあいも素晴らしい観光資源になり得ると感じた。  
(細井成富)



地域に於けるインバウンド振興について勉強会

次の勉強会として、農林水産省生産局農業環境対策課課長補佐の宮地修平氏、同生産専門官の亀谷充氏より「GAPは地域農業振興の切り札になるか」のテーマのもと開催された。

農業生産工程管理（GAP、Good・Agricultural・Practice）とは、農業生産活動の持続性を確保するため、食品安全、環境保全、労働安全に関する法令を遵守するための点検項目を定め、



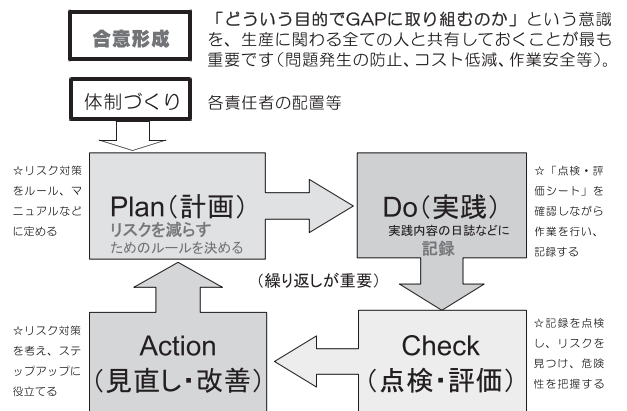


「GAP は地域農業振興の切り札になるか」の勉強会

その実績、記録、点検、評価を繰り返しつつ生産工程の管理や改善を行う取組のこと。神山町に於いても、すだち・椎茸で徳島県の認証の実績があり、管理官より共通基盤に関するガイドライン、国内の取組状況、導入による経営改善効果等の説明の後、質疑応答があった。すだちについては、国外への供給も進みつつあるので、経営の改善や神山町すだちに対する信頼性の向上を図る必要性を感じた。

26日、日程第1として、東京消防庁立川都民防災教育センター（立川防災館）を視察体験した。  
平成23年3月11日に発生した東日本大震災の記録映画を通じて地震への備えと助け合いの大切さを感じ、地震体験室、煙体験室等所長より普段の心構えやいざという時の行動を学ぶことができた。最後に、「被災しても強い対策、立ち向かう備え、希望を持つ」との言葉が心に

GAP 導入・実践の流れ



東京消防庁立川都民防災センターでの視察

残った。  
その後、日本各地の魅力を感じられ、地域貢献、震災復興といった社会的なミッションを含んだ「まるごとにつぼん」で各フロアを視察した。  
(中西富士男)



「まるごとにつぼん」地方色豊かな地産セレクトフロア



煙体験室

神  
山  
の  
風  
景

# 平成28年度 鬼籠野地区敬老会

10月9日開催  
旧鬼籠野小学校 体育館



歓談中



中西議員の祝辞



米寿の祝い状の贈呈

公職選挙法違反になるお  
それがありますので年賀  
状などの挨拶状は控えさ  
せていただきます。  
議員一同



## 議会の動き

**9月**  
9日～16日 9月定例会  
29日～30日 女性議員連盟視察研修  
30日 四国四県町村長・議長大会

**10月**  
3日～5日 県外視察研修  
(長野県)  
7日 主要地方道石井神山線  
並びに高原石井線整備  
改良促進期成会総会  
11日 定例監査(出先  
機関)  
11日～12日 消防議員県外視  
察(和歌山県)  
13日 四国地区町村議長会研  
修会(香川県)  
14日 主要地方道神山鮎喰線  
整備改良促進期成同盟  
20日～21日 定例監査(庁舎  
内)

## 編集後記

連日35度を超える8月の猛暑、梅雨を思わせる9月の長雨と台風16号がスタダチの収穫や種まき時期と重なり、農家には大変厳しい秋となりました。近年の異常気象により、台風が東日本に多く上陸するようになった。特に東北や北海道では河川の氾濫により家屋や田畑に甚大な被害を蒙った。その影響で玉ネギ、ニンジン、ジャガイモ等野菜の値段が高騰して家計を直撃。東日本は今まで台風の上陸が非常に少なく、堤防等河川の整備が十分でなかった。今後、国の河川予算は東日本に多く配分されると予想され、鮎喰川の整備にも影響が出そうだ。私たちも国県に向けなお一層の要望活動が重要と考えています。(細井成富)

**11月**  
25日～26日 国土交通省・財務省への要望活動  
1日～2日 監査委員全国研修会  
9日～10日 第60回町村議会議長全国大会・徳島県町村議長会役員研修  
10日 第70回西郡人権教育研究大会  
25日 神山町子ども議会  
12月定例会は12月7日(水)開会予定です。